

夢育て・たちかわ 子ども21プラン
市民意向調査結果速報
(共通設問関連)

平成31年3月

目次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法	1
	(1) 調査対象地域	1
	(2) 調査対象者	1
	(3) 調査対象者の抽出	1
3	回収結果	2
II	結果概要	4
1.	全調査の共通項目に関する集計結果	4
2.	子どものいる家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	4
3.	就学前児童家庭、小学校児童家庭、中学生・高校生世代家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	4
4.	小学校児童家庭、中学生・高校生世代家庭、ひとり親家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	5
5.	就学前児童家庭、小学校児童家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	5
6.	子ども本人に対する調査共通項目に関する集計結果	5
III	調査結果	6
0.	回答者（保護者世代）の主な属性	6
①	回答者と子どもの続柄	6
②	居住地域	6
③	子どもの人数	7
④	あて名のお子さんの年齢	7
1.	全調査の共通項目に関する集計結果	8
①	経済的な理由で（子どもに対して）できなかったこと	8
②	必要な支援制度	9
③	SNS やインターネットを見ている時間	9
④	自己肯定感	10
⑤	「子どもの権利条約」の認知度	10
⑥	「子どもの権利」として特に大切なこと	11
⑦	大人として心がけたいこと／大人に心がけてほしいこと	12
⑧	「子どもの権利」の尊重の状況	13
⑨	「子どもの権利」が広く知られていくことの意義や効果	14
2.	子どものいる家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	15
①	子育てに対する思い	15
②	お子さんについて困ったり悩んだりしていること	15
③	子どもや子育てに関して今の気持ちに一番あてはまること	19
④	子育てをしやすい社会に必要なだと考えられること	24
⑤	お子さんの平均睡眠時間	25
⑥	家族と一緒に過ごしていると感じる時間	25
⑦	子育てに関する情報入手手段	26
⑧	災害時における不安	27
⑨	災害に関する子どもとの話し合いの状況	28
⑩	「仕事時間」と「家事（子育て）・プライベートの生活時間」のバランス	29
⑪	地域における子育ての環境や支援への満足度	30
3.	就学前児童家庭、小学校児童家庭、中学生・高校生世代家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	31
①	回答者の配偶関係	31
②	主として子育てを行っている人	31

③ 子育てに関して気軽に相談できる人・場所の有無	32
④ 気軽に相談できる人・場所	32
⑤ 配偶者の家事・子育て参加に対する満足度	33
4. 小学校児童家庭、中学生・高校生世代家庭、ひとり親家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	34
① 定時制・通信制等合同学校相談会の認知度	34
② お子さんへのあいさつ・言葉かけの状況	34
③ お子さんとの間の約束やルールの有無	35
④ お子さんとの間の約束やルールの内容	35
⑤ お子さんとの関係	36
⑥ お子さんの悩みの把握状況	38
⑦ お子さんからの相談の程度	38
5. 就学前児童家庭、小学校児童家庭に対する調査共通項目に関する集計結果	39
① お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	39
② 祖父母等の親族にお子さんをみてもらう状況について思うこと	39
③ 友人・知人にお子さんをみてもらう状況について思うこと	40
④ 母親の就労状況	40
⑤ 父親の就労状況	41
⑥ お子さんの病気やケガの際に教育・保育事業の利用できなかった場合の対処方法	41
⑦ 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	42
⑧ 不定期に利用している一時預かり等の事業の有無	42
⑨ 一時預かり等の事業の必要性	43
⑩ 保護者の泊まりがけの用事で家族以外に子どもをみてもらう必要があった時の有無	43
⑪ 保護者の泊まりがけの用事の際の対処方法	43
⑫ ショートステイ事業の利用希望	44
⑬ サービスの認知度、利用状況	44
6. 子ども本人に対する調査共通項目に関する集計結果	46
① 性別	46
② 同居している家族	46
③ 平日の生活について	47
④ 家族との話について	50
⑤ 家の中で話す相手	50
⑥ 家族に対する思い	51
⑦ 好きなことや興味のあること	52
⑧ おこづかいについて	52
⑨ おこづかいの使い道について	53
⑩ おこづかいの金額	54
⑪ 宿題、予習・復習の実施状況	54
⑫ 学習塾の状況	55
⑬ 習い事の状況	55
⑭ 利用した公共の場所	56
⑮ あったらいいなと思う場所について	57
⑯ 毎日の「楽しさ」について	58
⑰ 友だちについて	58
⑱ 悩みや困っていること	59
⑲ 家庭における手伝いについて	60
⑳ 家庭における手伝いの時間	60
㉑ 携帯やスマホ等の所有状況	61
㉒ 見知らぬ人とのSNSやメールでのやりとりについて	61
㉓ 見知らぬ人とのSNSやメールでのやりとりで、直接会ったことの有無	62
㉔ SNSの利用について	62
㉕ インターネットを利用して良かったこと	63
㉖ インターネットを利用して良くなかったこと	64

⑳	立川市への思い.....	65
㉑	立川市が好きな理由.....	65
㉒	立川市が嫌いな理由.....	66
㉓	定住意向.....	66

注：保護者世代：「就学前児童家庭」「小学校児童家庭」「中学校・高校生世代」「ひとり親家庭」
子ども世代：「小学5年生」「中学2年生」「高校2年生世代」

I 調査概要

1 調査目的

平成32年(2020年)度を初年度とする「第4次夢育て・たちかわ子ども21プラン」を策定するにあたり、市内在住対象者に対してアンケートを行うことにより、生活実態、教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況及びニーズ等、子育て支援施策への要望・意見などを把握し、計画策定のための基礎資料とする。

2 調査方法

(1) 調査対象地域

市内全域を対象とする。

(2) 調査対象者

立川市在住者を対象に、以下の6区分に該当する人を対象とした調査を実施した。

区分		調査対象	配布件数
I	様式1	就学前児童の保護者	2,000
II	様式2	小学生の保護者	1,000
III	様式3	中学生・高校生世代の保護者	1,000
IV	様式4	小学5年生子ども本人	242
V	様式5	中学2年生子ども本人	204
		高校2年生世代子ども本人	200
VI	様式6	ひとり親家庭の保護者(18歳未満の子どもを扶養する配偶者のいない父または母)家庭の保護者	400
合計			5,046

(3) 調査対象者の抽出

調査対象者は、以下の方法で抽出した。

1. 調査区分I～III、Vの高校2年生世代子ども本人
 - ・住民基本台帳システムから電算無作為抽出
2. 調査区分IV、Vの中学生子ども本人
 - ・任意に選択した市内小学校(7校)の小学5年生の1クラス
 - ・任意に選択した市内中学校(6校)の中学2年生の1クラス
3. 調査区分VI
 - ・福祉総合システムから電算無作為抽出

(4) 調査方法

調査は以下の方法で実施した。

調査区分	方法
IからⅢ、Ⅵ Ⅴの高校2年生世代子ども本人	郵送による配布及び回収 礼状(兼督促状)の発送
Ⅳの小学5年生子ども本人 Ⅴの中学2年生子ども本人	調査対象となる学校へ直接配布及び回収

(5) 調査期間

平成31年12月6日(木)～平成31年12月25日(火)

※平成31年12月17日(月)に礼状(兼督促状)を発送

3 回収結果

<回収結果>

区分		調査対象	配布 件数	不在 返送	有効配布 件数	回収数	回収率
I	様式1	就学前児童の保護者	2,000	4	1,996	1,194	59.7%
II	様式2	小学生の保護者	1,000	0	1,000	574	57.4%
III	様式3	中学生・高校生世代の保護者	1,000	1	999	536	53.6%
IV	様式4	小学5年生子ども本人	242	0	242	221	91.3%
V	様式5	中学2年生子ども本人 高校2年生世代子ども本人	404	0	404	269	66.6%
VI	様式6	ひとり親家庭の保護者(18歳未満 の子どもを扶養する配偶者のいな い父または母)家庭の保護者	400	0	400	149	37.3%
		合計	5,046	5	5,041	2,943	58.3%

<地区別回収結果>

	様式1		様式2		様式3		様式6	
	回答数	構成比%	回答数	構成比%	回答数	構成比%	回答数	構成比%
富士見町	118	9.9%	58	10.1%	62	11.6%	11	7.4%
柴崎町	67	5.6%	24	4.2%	32	6.0%	7	4.7%
錦町	122	10.2%	42	7.3%	46	8.6%	10	6.7%
羽衣町	39	3.3%	24	4.2%	24	4.5%	11	7.4%
曙町	87	7.3%	42	7.3%	37	6.9%	6	4.0%
高松町	94	7.9%	31	5.4%	20	3.7%	7	4.7%
緑町	22	1.8%	7	1.2%	5	0.9%	1	0.7%
泉町	8	0.7%	3	0.5%	2	0.4%	0	0.0%
栄町	90	7.5%	48	8.4%	32	6.0%	11	7.4%
若葉町	50	4.2%	44	7.7%	43	8.0%	8	5.4%
幸町	91	7.6%	46	8.0%	43	8.0%	13	8.7%
柏町	73	6.1%	38	6.6%	37	6.9%	12	8.1%
砂川町	109	9.1%	68	11.8%	58	10.8%	14	9.4%
上砂町	63	5.3%	23	4.0%	32	6.0%	15	10.1%
一番町	80	6.7%	30	5.2%	27	5.0%	14	9.4%
西砂町	76	6.4%	40	7.0%	32	6.0%	8	5.4%
無回答	5	0.4%	6	1.0%	4	0.7%	1	0.7%
合計	1,194	100.0%	574	100.0%	536	100.0%	149	100.0%

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。
- 図表中の「N」とは、回答者数を表します。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがあります。

II 結果概要

1. 全調査の共通項目に関する集計結果

- ・経済的な理由でできなかったことは、保護者世代は「家族で旅行に行く」、「学習塾に通わせる」、子ども本人は「おこづかいをもらう」、「友だちとのつきあい」が多くなっています。(p.8)
- ・「経済的な理由でできなかったことがある」と答えた人に、どんな必要な支援制度があるかと思うかを聞いたところ、保護者世代で「塾の授業料や勉強をみてもらうのにかかる費用の補助」、小学5年生本人で「子ども食堂」、中学2年生本人で「学校や塾以外で勉強を見てくれるところ」、「塾の授業料や勉強をみてもらうのにかかる費用の補助」、高校2年生世代本人で「受験費用の貸付」となっています。(p.9)
- ・SNSやインターネットを見ている時間は、保護者世代で「1時間以上2時間未満」、小学5年生本人で「30分以上1時間未満」、中学2年生本人及び高校2年生世代本人で「2時間以上4時間未満」となっています。(p.9)
- ・子どもの権利条約は、いずれの世代も「知らない」が最も多くなっています。また、子どもの権利の尊重の状況は、保護者世代、子ども世代とも「ある程度尊重されている」が最も多くなっています。(p.10, 13)

2. 子どものいる家庭に対する調査共通項目に関する集計結果

- ・子育てを楽しんでいるかについては、「楽しいと感じることが多い」が最も多くなっていますが、ひとり親家庭においては、「楽しいと感じることが多い」と「つらいと感じることが多い」の割合が多くなっています。(p.15)
- ・子育てしやすい社会に必要なことは、就学前児童家庭、小学校児童家庭で「児童手当など、子育てに関する経済的な支援の充実」、中学生・高校生世代家庭、ひとり親家庭で「保護者の経済状態によらず、高校・大学などへ進学ができる支援の充実」が多くなっています。特に就学前児童家庭は、他家庭よりも、ほとんどの項目で回答された割合が高くなっています。(p.24)
- ・家族と一緒に過ごす時間は、お子さんの年齢が高くなるほど、短くなる傾向があります。(p.25)
- ・仕事時間と家事(子育て)・プライベートの生活時間の関係を見ると、中学生・高校生世代、ひとり親家庭については、希望に反して現実には「仕事時間を優先」が多くなっています。(p.29)
- ・市における子育て環境の満足度は、5段階評価でいずれも「満足度3」が最も多くなっています。また、平均値を見ると、全体では3.16であるのに対して、就学前児童家庭で3.24、小学校児童家庭で3.10、中学生・高校生世代家庭で3.10、ひとり親家庭で3.02となっています。(p.30)

3. 就学前児童家庭、小学校児童家庭、中学生・高校生世代家庭に対する調査共通項目に関する集計結果

- ・気軽に相談できる人・場所は「いる／ある」が多く、相談先は「配偶者」が主となっています。(p.32)
- ・子育てをしている人はいずれも「主に母親」が多くなっています。また、配偶者の家事・子育ての参加については「だいたい満足」が多いですが、中学生・高校生世代家庭では「満足して

いる」の割合が低いのが特徴です。(p.31, 33)

4. 小学校児童家庭、中学生・高校生世代家庭、ひとり親家庭に対する調査共通項目に関する集計結果

- ・定時制・通信制等合同学校相談会の認知度は、3～5人に1人は「知っている」という結果となっています。(p.34)
- ・お子さんとの約束、ルールは、「まあまあある」が最も多く、内容は、小学校児童家庭では「テレビやゲームの時間」、中学生・高校生世代家庭で「出かける際の行き先や相手」、ひとり親家庭で「あいさつ」となっています。(p.35)
- ・子どもとの関係で、「友だち」「お子さんが好きなこと」については、小学校児童家庭は「知っている」が最も多いですが、中学生以上では「だいたい知っている」が最も多くなっています。(p.36)
- ・お子さんの悩みの状況については、「子どもが話してくれるので知っている」となっていますが、中学生・高校生世代家庭は、小学校児童家庭と比較してその割合が低くなっています。(p.38)

5. 就学前児童家庭、小学校児童家庭に対する調査共通項目に関する集計結果

- ・子どもを見てもらえる環境については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が多くなっています。(p.39)
- ・母親の就業状況は、就学前児童家庭では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多くなっています。(p.40)
- ・お子さんの病気やケガの対応については「母親が仕事を休んだ」が多くなっています。また、特に就学前児童家庭では病児・病後児のための保育施設等の利用希望は「利用したいとは思わない」が多くなっています。(p.41, 42)

6. 子ども本人に対する調査共通項目に関する集計結果

- ・家族に対する思い(家族が好き、家族はみんな仲が良い、家族のことを尊敬)については、年齢が低いほど、「そう思う」と回答した人の割合が高くなっています。(p.51)
- ・好きなことや興味のあることは、いずれも「YouTubeなどインターネット」が最も多くなっています。(p.52)
- ・おこづかいの使い道については、小学5年生で「貯金」、中学2年生で「交際費(友だちと遊んだり、飲食したりするため)」、高校2年生世代で「食事やお菓子、飲み物」となっています。(p.53)
- ・この1年間で使った場所については、いずれも「公園」「図書館」が多く、あったら良いと思う場所は、小学5年生、中学2年生で「ゲームやインターネットができる部屋」、高校2年生世代で「静かに勉強できる部屋」となっています。(p.56, 57)
- ・毎日が楽しいかという設問については、小学5年生で「楽しい」、中学2年生、高校2年生世代で「まあまあ楽しい」が最も多くなっています。また、悩みや困っていることについては、小学5年生で「友だちとの関係」、中学2年生、高校2年生世代で「進路や将来のこと」が最も多くなっています。(p.58, 59)

Ⅲ 調査結果

0. 回答者（保護者世代）の主な属性

① 回答者と子どもの続柄

いずれも「母親」が最も多くなっています。

		回答者数	母親	父親	祖母	祖父	その他	無回答
就学前児童家庭	人数	1,194	1,093	96	1	0	0	4
	構成比		91.5%	8.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%
小学校児童家庭	人数	574	522	48	3	1	0	0
	構成比		90.9%	8.4%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%
中学生・高校生世代家庭	人数	536	469	65	2	0	0	0
	構成比		87.5%	12.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
ひとり親家庭	人数	149	140	9	0	0	0	0
	構成比		94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

② 居住地

就学前児童家庭は「錦町」、小学校児童家庭が「砂川町」、中学生・高校生世代家庭が「富士見町」、ひとり親家庭が「上砂町」が最も多くなっています。

		回答者数	富士見町	柴崎町	錦町	羽衣町	曙町	高松町	緑町	泉町
就学前児童家庭	人数	1,194	118	67	122	39	87	94	22	8
	構成比		9.9%	5.6%	10.2%	3.3%	7.3%	7.9%	1.8%	0.7%
小学校児童家庭	人数	574	58	24	42	24	42	31	7	3
	構成比		10.1%	4.2%	7.3%	4.2%	7.3%	5.4%	1.2%	0.5%
中学生・高校生世代家庭	人数	536	62	32	46	24	37	20	5	2
	構成比		11.6%	6.0%	8.6%	4.5%	6.9%	3.7%	0.9%	0.4%
ひとり親家庭	人数	149	11	7	10	11	6	7	1	0
	構成比		7.4%	4.7%	6.7%	7.4%	4.0%	4.7%	0.7%	0.0%

		栄町	若葉町	幸町	柏町	砂川町	上砂町	一番町	西砂町	無回答
就学前児童家庭	人数	90	50	91	73	109	63	80	76	5
	構成比	7.5%	4.2%	7.6%	6.1%	9.1%	5.3%	6.7%	6.4%	0.4%
小学校児童家庭	人数	48	44	46	38	68	23	30	40	6
	構成比	8.4%	7.7%	8.0%	6.6%	11.8%	4.0%	5.2%	7.0%	1.0%
中学生・高校生世代家庭	人数	32	43	43	37	58	32	27	32	4
	構成比	6.0%	8.0%	8.0%	6.9%	10.8%	6.0%	5.0%	6.0%	0.7%
ひとり親家庭	人数	11	8	13	12	14	15	14	8	1
	構成比	7.4%	5.4%	8.7%	8.1%	9.4%	10.1%	9.4%	5.4%	0.7%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字